

平成 27 年度みんなで支える森林づくり北信地域会議（第 2 回）概要

- 1 開催日時 平成 27 年 12 月 14 日（月）10 時 00 分から
- 2 開催場所 中野市大字壁田 北信合同庁舎 4 階 講堂
- 3 出席者 委員 8 人
 - ◎竹節 義孝 山ノ内町長
 - 中山 稿一 北信州森林組合長
 - 桑原 重雄 栄村森林組合長
 - 宮崎 正毅 NPO法人北信州の森林と家をつなぐ会代表理事
 - 阿部 恵子 みどりの少年団北信地区協議会（中野市立科野小学校長）
 - 竹節 高四郎 自然公園指導員
 - 佐藤 勝志 北信猟友会
 - 笹岡 紀美雄 指導林家

※オブザーバー 中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、栄村
北信州森林組合、栄村森林組合
- 4 開 会
 - (1) あいさつ 田中北信地方事務所長
- 5 会議事項
 - (1) 平成 27 年度長野県森林づくり県民税活用事業の実施状況について
 - (2) 市町村・森林組合の取り組みについて
 - (3) 平成 26 年度みんなで支える森林づくりレポートについて
 - (4) 大北森林組合補助金不適正受給事案に係る対応方針及び再発防止策について
 - (5) 意見交換
 - (6) その他
- 6 閉 会

議事概要

(1) 平成 27 年度森林税活用事業の実施状況について

- ・事務局より概要説明。
- ・特に質疑なし。

(2) 市町村・森林組合の取り組みについて

- ・事務局により概要説明の後、各市町村・森林組合により実施状況について説明。
- ・概ね計画どおり実施されていることを確認。

【阿部委員】

カシノナガキクイムシの被害木が確認され、被害木の伐採が行われておりますが、北信地方での被害状況を教えてください。

【事務局】

カシノナガキクイムシの特性として、幹が太い木を住処とし、移動を繰り返す習性があります。北信地方でも平成 21 年頃をピークに、飯山市、野沢温泉村、栄村を中心にカシノナガキクイムシの被害が発生しました。カシノナガキクイムシの生育に適した木は、カシノナガキクイムシ自身の被害により枯れてしまったためほとんど残っておりません。そのため現在では、カシノナガキクイムシの被害は収束しております。

しかしながら、被害を受けて枯れた木は、もろく、風などで倒木する可能性が高まります。現在も被害により枯れたままの木が残っておりますので、市町村や森林組合と協力しながら、被害木の伐採を進めていきたいと思っております。

(3) 平成 26 年度みんなで支える森林づくりレポートについて

- ・事務局より説明。
- ・特に質疑なし。

(4) 大北森林組合補助金不適正受給事案に係る対応方針及び再発防止策について

【中山委員】

仮に不正があったとしても、検査が確実に行われていれば発見できたと思っております。今回の事案は犯罪に近く、常例検査を増やす等の対策による効果には疑問もあります。

【桑原委員】

森林組合だけの問題ではなく、他にも要因がある様に思っております。

また、今回の事案の影響で、森林の整備が遅れている気がいたします。このようなことが二度と起きないようにしてほしいと思っております。

(5) 意見交換

【座長】

それでは意見交換を始めます。各委員の皆さんは、質問や意見等がありましたら適宜発言してください。

【宮崎委員】

飯山市の信州の木活用モデル地域支援事業についてですが、根曲がりプロジェクトのイメージ写真は六日町図書館のもので、飯山駅の直線通路にこのような根曲がり Bench を設置して PR したいと思えます。屋台プロジェクトの屋台は、屋根が外せて運び易い構造となっているので、イベント等で活用していただきたいと思えます。

【中山委員】

山ノ内町で「ABMORI 植樹祭」が行われましたが、植樹された木の間隔が狭いと感じました。木の間隔が狭くても育つのでしょうか。

【事務局】

「ABMORI 植樹祭」の植樹方法については、横浜国立大学名誉教授の宮脇 昭先生からご指導をいただきながら適正に行いました。宮脇先生が考案された植樹法を『宮脇式』と呼んでおりますが、木と木の間隔を狭くして植樹することで、植樹された苗木同士の競争を促し、丈夫な木に生育させる植樹法でございます。

また、山ノ内町、中野西高校の生徒とも協力し、「ABMORI 植樹祭」で植樹された苗木のモニタリングを行っていきます。どの樹種が大きく、強く育つかを観察していきます。モニタリングを実施することで、植樹法の評価と環境教育の一環にしようと考えています。

【中山委員】

今年6月に開催された北信州植樹祭も、宮脇式による植樹だったのでしょうか。

【事務局】

北信州植樹祭は1ヘクタールあたりに2000本の植樹を行いました。

資源としての木を育てることを目的としているので、一般的な方法で植樹しました。

【座長】

来年の北信州植樹祭について、何か計画されているのでしょうか。

【事務局】

平成28年5月21日に飯山市での開催を予定しております。植樹箇所は「菜の花公園」「上野の森」を計画しております。ユキツバキなどの緑化木苗木を植樹しようと考えています。

また来年は全国植樹祭が長野県で開催されます。県内各地で全国植樹祭に係る植樹イベントが行われますが、北信地域は飯山市が県民植樹会場となっております。また平成28年6月5日、「飯山市文化交流館なちゅら」「矢落池公園」でも全国後継者大会参加者の植樹を計画しております。

【座長】

鳥獣に関する事で意見がある方いらっしゃいますか。

【佐藤委員】

去年、大量出沒したクマですが今年あまり見られません。人里に近い場所で、クマの好物である柿も実っていますが、それを食べに来るクマの目撃情報ありません。山奥に木の実が多く実り、食べ物が豊富にあるため、今年人里まで降りてきていないようです。しかし、山の中にクマの食べ物が豊富にあるということは、母体も良いので春に子グマが出沒する可能性が考えられます。緩衝帯整備を行う等の効果的な、鳥獣被害対策を続けていただきたいと思います。

【座長】

他に御意見等、ある方いらっしゃいますか。いないようでしたら、意見交換について終了とさせていただきます。

会議の様子

